

科目名称	作業療法評価学
授業コード	AE264
英語名称	Clinical Assessment in Occupational Therapy
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	大西 正二
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本科目では、発達領域の作業療法の対象となる子どもに使用される評価方法について学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	発達障害領域の作業療法士としての実務経験を活かして講義する。
到達目標	カルキュラム・ポリシーにおける「基礎作業療法学や評価学、管理学などから、作業療法の実践を学ぶ」が実現するよう、発達障害領域の作業療法に必要な評価法について理解する。 作業療法評価学を通し、子どもの作業療法を実践していくために必要な評価法について理解することを目標とする。
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション・情報収集（面接／観察）</p> <p>第2回 運動発達の評価（粗大運動／上肢機能）</p> <p>第3回 運動発達の評価（反射、反応）</p> <p>第4回 発達スクリーニング検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法／DENVER -デンバー発達判定法-）</p> <p>第5回 ADLの評価（WeeFIM／PEDI）</p> <p>第6回 適応行動の評価（日本版Vineland- 適応行動尺度）</p> <p>第7回 視知覚機能の評価（フロスティック視知覚発達検査）</p> <p>第8回 視知覚機能の評価（WAVES）</p> <p>第9回 知能検査（グッドイナフ人物画知能検査新版／田中ビネー知能検査）</p> <p>第10回 知能検査（WISC - ）</p> <p>第11回 知能検査（KABC - ）</p> <p>第12回 感覚統合機能の評価（JPAN感覚処理・行為機能検査）</p> <p>第13回 感覚統合機能の評価（日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査）</p> <p>第14回 感覚統合機能の評価（臨床観察）</p>

授業の進め方	パワーポイントを使用した授業形式で、映像資料などを適宜使用する。
能動的な学びの実施	理解を深めるために、必要に応じて実技やグループワークを行う。
授業時間外の学修	授業前にあらかじめ教科書に該当箇所を目を通しておく。 授業後は、教科書、テキストを関連づけて自分の講義ノートを整理する。 (予習復習を合わせて合計15時間)
教科書・参考書	【教科書】 新田収・笹田哲・内昌之, 知りたかった! PT・OTのための発達障害ガイド, 金原出版, 2012. 【参考書】 長崎重信, 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト発達障害作業療法学第3版, メジカルビュー社, 2021. 長崎重信, 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト作業療法評価学第3版, メジカルビュー社, 2022. 笹田哲, イラストと動画で学ぼう! 人間発達学, 診断と治療社, 2023.
成績評価方法と基準	各授業後の小テスト(40%) + 定期試験(60%)
課題等に対するフィードバック	リアクションペーパーにおける質問については、次回の授業開始時にフィードバックを行う。 (各授業後に実施する小テストに質問欄を設ける予定)
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	発達の領域では対象者の発達レベルや障害の原因を正確に評価する必要があります。 作業療法評価学を通して、代表的な評価法について理解しておくことが重要です。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 1. 各授業をオンラインもしくはオンデマンドで配信をする。 2. 各授業後に課題を提示する。 成績評価方法と基準 各授業後に提示した課題: 100%